

# Shin Club 19

(株)辰 通信 Vol.19 October 2001年  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f  
Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450

## (株)辰 創立記念日にあたり

(株)辰 代表取締役社長 森村 和男

毎月Shin Clubをご愛読いただきましてありがとうございます。弊社はこの10月1日に、2回目の創立記念日を迎える事ができました。これも偏に、お客様を始め、設計者、協力会社の皆様、またグループ各社のご支援の賜物と深くお礼申し上げます。

思えば2年前、「お客様にだけは迷惑をかけないようにしよう!」「やりかけた仕事は最後まで責任をもって完成させよう!」という熱い気持ちから仕掛かり工事を終了させ、30名の有志が参画して、「株式会社 辰」をスタートさせたのでした。(現在31名)

初年度10月1日より12月31日を第1期営業年度とし、第2期の昨年1月1日より12月31日を事実上の第1回営業年度と捉え、社員一同、業務に邁進してまいりました。皆様のご支援もあり、(株)辰の完成工事高10.3億円、また設立間もない未知の会社ゆえと信の面で、親会社のユニホー経由工事として約9億円、実質合計19.3億円の売上で終了することができました。今期営業年度に付きましては、現在約3ヶ月を残しておりますが、

総完成工事高は約32億円の見通しとなっております。受注につきましては、前年度比約20%増の見通しです。これも創立より今日まで大小355の工事を約300名のお客様よりご下命いただいた結果と感謝しております。

しかしながら、ご承知の通り9月の第3週で世界経済は歩みを止めてしまいました。テロに対する報復戦争は長引く可能性があり、輸出主導型の日本経済を直撃し、戦後経験した事のないデフレ経済が益々進行する事と思われる。弊社は幸い、有利子負債はなく、この2年間贅肉を削ぎ取り、極力節約につとめ、デフレ経済に対応出来る体質に努めてまいりました。今後も更なるコストの引き下げ、生産性の向上を計り、厳しい時代を乗り越える所存です。そして来期も、弊社の基本理念である「一流思考」を肝に命じ、社会から必要とされる「建築屋」を目指します。引き続き皆様の更なるご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 今月のトーク 「地域の時代」

『エコリビングPARK』(主催：NPO法人エコリビング推進証協議会 9月14日～15日)に行ってきました。「木の国日本の家作り」というパネルディスカッションで、三重県知事北川正恭氏、ジョン・ギャスライト氏(ツリーライミング日本代表)、赤池学氏(ユニバーサルデザイン総合研究所所長)らの活発なトークを聞かせてもらいました。北川さんは、知事とは思えないほど、自由な発想の持ち主、面白い方でした。三重県は今、環境先進県を目指しており、具体的な方策として、一つの県という行政枠から離れて、川を取り巻く環境をその流域全体で見直そうとしています。「宮川流域ルネッサンス事業」と名づけられたこの施策は、宮川流域について、豊かな自然環境の保全再生や地域資源を活用した地域振興を図るため、住民、企業、行政が、いっしょになって施策を展開するというものです。ジョン・ギャスライト氏や赤池氏との交流も、そんな中で生まれました。赤池氏らが自然との共生を提案して、「グローイング・ファーニチャー」と呼ばれる、成長を続ける木の椅子やベンチを村の人たちと作っている様子は興味深いものでした。(写真はジョンさん達が主催するツリーライミングの会場実演)



一方、弊社の地元、渋谷でも、いろいろな試みがスタートしています。T-house(弊社施工、Vol.15)のオーナーでいらっしゃるマーケットプランナーの玉井氏が発起人となって有志の方々と「シブヤむらまちネット」を設立させました。渋谷を「活力ある暮らしの場」にしていこうと、特色ある地域づくりに取り組む地方の自治体や住民

との交流を図っていらっしゃいます。8月末の第1回交流会では、山梨県早川町の地域活性化運動を紹介しました。過疎に悩む地方と、小学校の廃校が進む渋谷の地元の方々の暮らしは、実は共通する課題を含んでいます。そして会では、この10月23日に実験が開始される「アースデイマネー」と名付けられた地域通貨についての意見交換も行われました。

この「アースデイマネー」は、日本総合研究所、博報堂、地元事業者を中心につくった事務局SUSが主体となって運営します。単位は「r(アール)」。1r=1円で、「50r」「100r」「500r」の「紙幣」と預金通帳にあたるポイントカードを発行します。渋谷周辺でのボランティア活動参加者や、NPO(民間非営利団体)活動への寄付者に報酬として「r」を発行します。

どんな効果が期待されているでしょうか。1つには「住民間、コミュニティメンバー間の交流活動の活性化」。2つめに「地域コミュニティにおける商業・経済の活性化」。それから、3つめが一番大事なポイントですが、「NPOの活動の活性化」です。これがおそらくこれからの地域社会を良くしていくための鍵になるだろうと考えられています。環境美化に貢献することで利用できるお金、つまり目的が限定されている地域貨幣だからこそ、意志のある人々の中で積極的に運用されていくことが期待できます。渋谷川の再生計画も盛り込んだこの「アースデイマネー」は、お金の代替物であるプリペイドカードとは原理的に異なるもので、法律の適用除外となる来年4月までの6ヶ月が実験期間となっています。

グローバル経済の危うさが取りざたされる今、ちょっと注目したいイベントです。

詳しくは、<http://www.earthdaymoney.org/index.html> をご覧ください。

## TOPICS

### 「K邸 地鎮祭」 (9月29日) 多摩市

木造の住宅です。弊社プロジェクト「聖蹟桜ヶ丘の斜面住宅」の近くです。お施主様はIT関連メーカーにお勤めです。WTCテロ事件の時には、NYにいらっしゃいましたが、無事帰国されました。

設計：高田光雄(高田建築設計事務所)



### 「登戸集合住宅 地鎮祭」 (10月7日) 川崎市

RCの共同住宅です。2002年5月、完成予定です。

プロデュース：タカギプランニングオフィス  
設計：野口信彦



### 「パンゲアソラリアム お引渡し」 (8月) 渋谷区

代官山の裏通りに、多目的スペース「パンゲアソラリアム」がオープンしました。オーナーは、女性の新しい仕事のあり方をいろいろな角度から展開しているプロデューサーです。

アート、セミナー、イベント、クリエイトなど、様々な活動を表現するスペースとして、このガラス張りの心地よい空間を企画されました。

「サロン」と呼ばれた場所が、クリエイター達の交流の場となりさまざまな文化が生まれたように、この空間は人と人をつなぐことでよりパワーを増長させ、オルタナティブな活動をさらに発展させてゆくというコンセプトを持っています。



## WHAT'S NEW

From this month's magazine

### 「Memo男の部屋」 10月号 (発行元：(株)ワールドフォトプレス)

#### 「ゆるやかに形になる家ー建築家 内海智行」

「建主としてめぐり会いたい建築家インタビュー」として、弊社施工の「inner skin house」の設計者、内海智行氏が取り上げられています。

住宅の注文を受けたときの内海氏のプランを詰めていく具体的な方法やプロフィールが語られています。(p.15)

また、岡部克哉氏の「四季折々の自然を楽しむ全面ガラスのサンルーム」が、戸建ディテールリフォーム(p.55)で紹介されています。



## INFORMATION

映像作品「六甲の山荘 在Be」上映会のお知らせ

先月号でご紹介した石丸信明氏の受賞映像作品の上映会が行われます。

神戸で阪神大震災を経験し、ご本人も被災された石丸氏。建築の原点に立ち返った氏の視点を通しての日本の建築美が海外での評価を受け、多くの賞を受賞しました。(映像：藤原次郎、構成：奥村恵美子)

日時：10月19日(金) 午後6時30分～7時30分(定員170名)

場所：カッシーナインターデコル本社B2F SPAZIO2(スパージオ2)恵比寿駅より徒歩10分 TEL:03-5725-4240

参加費：1000円

申し込み：FAX:03-3556-6362 E-mail: zaibe@infoseek.jp

詳細は、HPで。URL:<http://isweb34.infoseek.co.jp/art/zaibe/>